



2014年3月期(平成25年度)
第1四半期決算説明資料

2013年8月6日

ダイキン工業株式会社

2014年3月期第1四半期決算説明資料

- 第1四半期決算概要……………P.3
- 第1四半期部門別業績……………P.4-12
 - ・部門別売上高/営業利益
 - ・地域別売上高の推移 — 空調事業、化学事業
 - ・部門業績の概況

■ 第1四半期決算概要



グローバル空調事業が全地域で順調に拡大したことに加え、昨年買収したグッドマン社の連結や円安効果の取り込みにより、化学の営業利益は前年を下回ったものの大幅な増収増益を達成。

- 中国では、不動産投資の減少により、業務用エアコンの販売が減少する中、住宅用市場で小売・街売による住宅用マルチエアコンの販売に注力し、売上高を伸ばした。
- アセアンは、重点市場のインド、ベトナム、インドネシアで販売店開発を進め、住宅用を中心に販売を大きく伸ばした。
- グッドマン社は、米国住宅市場の更新需要の回復に加え、省エネ新商品の投入により新築市場においても販売を伸ばした。

(単位:億円)	1Q実績(4-6月)		
	12年度	13年度	前年比
売上高	3,138	4,604	147%
営業利益 (利益率)	223 (7.1%)	404 (8.8%)	181%
経常利益 (利益率)	200 (6.4%)	406 (8.8%)	203%
四半期純利益 (利益率)	114 (3.6%)	266 (5.8%)	233%

為替レート

ドル/円	80	99	—
ユーロ/円	103	129	—

*為替影響(対前年)
売上高535億円、営業利益35億円

<参考>

13年度計画(現公表)			
上期	前年比	年間	前年比
9,200	142%	17,600	136%
760 (8.3%)	150%	1,250 (7.1%)	141%
740 (8.0%)	157%	1,200 (6.8%)	128%
420 (4.6%)	466%	640 (3.6%)	147%

95
125

*上期および通期の業績予想は変更なし

■ 第1四半期 部門別売上高/営業利益



(単位:億円)

		2012年度 1Q実績	2013年度 1Q実績	前年比	2013年度 年間計画	前年比
全社	売上高	3,138	4,604	147%	17,600	136%
	営業利益 (利益率)	223 (7.1%)	404 (8.8%)	181%	1,250 (7.1%)	141%
空調	売上高	2,787	4,223	152%	15,600	139%
	営業利益 (利益率)	186 (6.7%)	400 (9.5%)	215%	1,030 (6.6%)	145%
化学	売上高	272	299	110%	1,500	121%
	営業利益 (利益率)	41 (14.9%)	7 (2.4%)	18%	195 (13.0%)	118%
その他	売上高	79	82	103%	500	108%
	営業利益 (利益率)	▲ 4 —	▲ 3 —	—	25 (5.0%)	204%

■ 地域別売上高の推移-空調事業



(単位:億円)

<参考>現公表

	2009年度1Q		2010年度1Q		2011年度1Q		2012年度1Q		2013年度1Q		2013年度計画	
	比率	売上高	比率	売上高	比率	売上高	比率	売上高	比率	売上高	比率	売上高
日本	84%	780	103%	806	119%	956	105%	1,004	96%	960	105%	4,340
ヨーロッパ	68%	597	96%	576	106%	608	73%	444	134%	594	127%	2,330
中国	70%	214	145%	310	120%	371	161%	598	139%	833	131%	2,720
アメリカ	82%	197	103%	202	107%	217	110%	239	449%	1,071	331%	3,430
アジア	70%	194	126%	244	123%	302	109%	327	156%	510	133%	1,820
オセアニア	77%	82	113%	93	86%	80	92%	74	130%	96	123%	440
中近東	50%	32	142%	45	103%	47	181%	85	157%	133	124%	440
アフリカ	126%	24	81%	19	80%	16	99%	15	164%	25	110%	80
計	75%	2,120	108%	2,295	113%	2,595	107%	2,787	152%	4,223	139%	15,600

海外売上高比	63%	65%	63%	64%	77%	72%
為替レート(ドル/円)	97円	92円	82円	80円	99円	95円
(ユーロ/円)	133円	117円	117円	103円	129円	125円

グッドマン社1Q実績
売上高 723億円(前年比112%)
前年比は現地通貨ベース

※為替影響を除く実質前年比

	2013年度1Q	2013年度計画
ヨーロッパ	110%	109%
中国	110%	114%
アメリカ	364%	289%
(除くグッドマン)	118%	116%

■ 地域別売上高の推移-化学事業



(単位:億円)

<参考>現公表

	2009年度1Q		2010年度1Q		2011年度1Q		2012年度1Q		2013年度1Q		2013年度計画	
日本	53%	64	157%	101	116%	117	83%	98	81%	79	96%	415
アメリカ	60%	46	146%	67	86%	58	123%	71	116%	83	135%	420
中国	61%	20	182%	37	165%	60	83%	50	153%	76	138%	350
アジア	63%	15	156%	23	182%	43	54%	23	116%	26	155%	175
ヨーロッパ	46%	13	172%	23	124%	29	98%	28	110%	31	121%	140
その他	142%	3	79%	2	150%	3	65%	2	167%	3	—	—
計	57%	161	158%	254	122%	309	88%	272	110%	299	121%	1,500

海外売上高比	60%	60%	62%	64%	73%	72%
為替レート(ドル/円)	97円	92円	82円	80円	99円	95円
(ユーロ/円)	133円	117円	117円	103円	129円	125円

※為替影響を除く実質前年比

	2013年度1Q	2013年度計画
アメリカ	94%	118%
中国	121%	120%
ヨーロッパ	89%	103%

■ 第1四半期部門業績の概況(空調事業)



国内

- ・住宅着工数の伸長や節電意識の浸透による省エネ商品へのニーズの高まりに加え、好天に恵まれたこともあり、住宅用の業界需要は堅調に推移。業務用については、昨年度の政府補助金制度に伴う需要増加の反動もあり、業界需要は下回った。
- ・当社は、住宅用、業務用ともに省エネ差別化商品の投入、拡販に加え、徹底した売価維持に努めた。
- ・住宅用は、業界で初めて新冷媒R32を採用した『うるさら7』などの差別化新商品を大きく拡販した。
- ・業務用は、『Eco-ZEAS80』、『Ve-upIV』を中心とした省エネ差別化商品を拡販。節電・快適性を訴求した当社独自のソリューションによる販売活動を展開中。
- ・住宅用は7月からの猛暑を追い風に出荷が増加。年間の業界需要は当初想定の825万台を大幅に上回る見込み。

<国内空調 業界・当社出荷状況>

	(千台)	1Q実績	前年比	13年計画	前年比
住宅用	業界	2,837	102%	8,250	97%
	当社	—	98%	—	97%
業務用	業界	196	95%	779	100%
	当社	—	97%	—	97%
エコキュート	業界	103	93%	420	94%
	当社	—	76%	—	86%

売上高(億円)	960	96%	4,340	105%
---------	-----	-----	-------	------

■ 第1四半期部門業績の概況(空調事業)



欧州

(トルコ・中近東・アフリカを含む)

EU各国の需要は引き続き低迷する中、トルコや中東をはじめとする新興市場の需要が堅調に推移し、欧州全体の売上高は前年を上回った。

- ・住宅用では、南欧を中心にボリュームゾーン商品の販売強化に取り組んだことにより、特にイタリアでの販売が伸長。好天に恵まれたロシアやトルコなど新興国においても大きく販売台数を伸ばし、前年を大幅に上回った。
- ・業務用は、販売店へのきめ細かなフォローを徹底しての受注活動強化とあわせて、欧州独自のボリュームゾーン向け商品を投入。ロシア、トルコなど新興市場での拡販を図った。

店舗用エアコンの販売台数は前年を上回ったが、ビル用マルチエアコンはEU地域での建築需要低迷の影響が大きく、前年を下回った。

- ・ヒートポンプ式住宅温水暖房機は、建築需要の低迷で主力市場のフランスで市場が低迷したが、中欧、イタリア、スペイン、イギリスなどで販路拡大が進み、全体では前年並みの販売を確保した。

＜欧州製品別販売状況(台数ベース)＞

(前年比)	1Q 実績	2013年度通期	
		需要	当社計画
住宅用	140%	99%	122%
業務用	SKY	110%	122%
	VRV	92%	109%
暖房	98%	108%	115%
アプライド	90%	102%	113%

売上高(億円)	752	138%	2,850	126%
現地通貨ベース		110%		108%

※SKY・・・中小型パッケージエアコン
 ※VRV・・・ビル用マルチエアコン
 ※アプライドは売上高(現地通貨)ベース

■ 第1四半期部門業績の概況(空調事業)



中国

金融引き締めの影響や不動産投資の減少により新築物件需要は低調に推移する中、比較的需要が堅調な小売向けの販売に注力するとともに、アプライド市場でも売上を伸ばし、全体の売上高は前年を上回った。

- ・本年4月より、業務用、住宅用全商品のフルモデルチェンジを実施。
- ・特に住宅用マルチエアコン市場のPROSHOPを中心とした小売販売店網の中国全域への拡大を進めたことが、売上拡大に寄与した。
- ・アプライドは、業界需要の伸びが鈍化する中、エアハンドリングユニットや空冷スクリーンを中心に販売を大きく伸ばした。
- ・蘇州工場を中心としたコストダウンの取り組み(ローカル原材料の採用拡大や市況軟化の取り込み等)を推進し、収益力強化に努めた。

＜中国製品別販売状況(台数ベース)＞

(前年比)	1Q 実績	2013年度通期		
		需要	当社計画	
住宅用	88%	100%	144%	
業務用	SKY	109%	123%	
	VRV	99%	108%	
アプライド	125%	107%	111%	
売上高(億円)	833	139%	2,720	131%
現地通貨ベース		110%		114%

※SKY・・・中小型パッケージエアコン
 ※VRV・・・ビル用マルチエアコン(住宅用マルチエアコン含む)
 ※アプライドは売上高(現地通貨)ベース

■ 第1四半期部門業績の概況(空調事業)

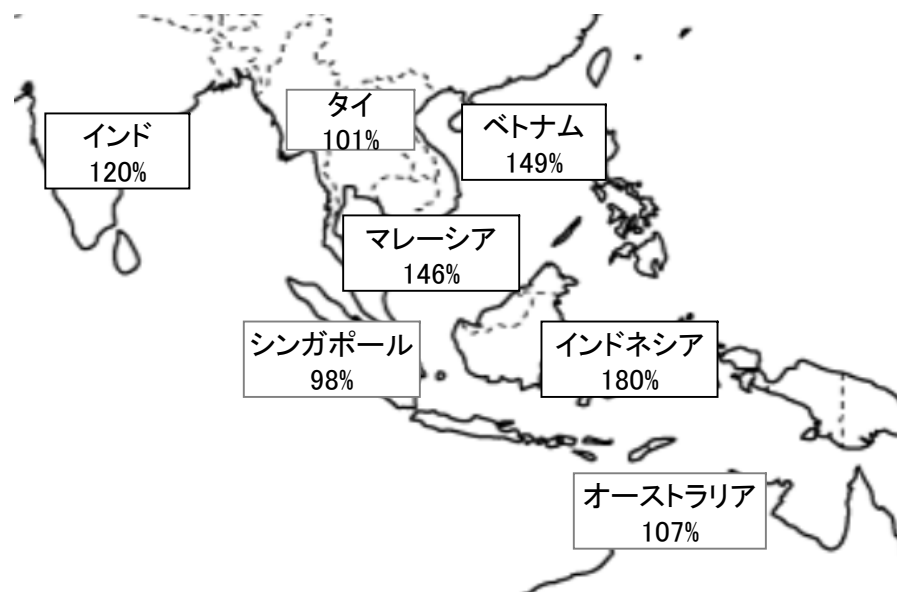


アジア・オセアニア

オーストラリア、タイでの販売は計画通り推移。重点市場のインド、ベトナム、インドネシアで販売店開発を進め、住宅用を中心に販売を拡大。アジア・オセアニア地域の売上高は前年を大きく上回った。

- ・インドでは、昨年からのルームエアコンの現地生産品の本格販売により、販売を拡大。
- ・ベトナムでは、販売店開発による拡販に好天の影響も加わり、住宅用空調中心に販売が大きく伸長。
- ・インドネシアは、昨年4月の販売会社設立以降、新規販売店開発など、販路拡大を進め、売上は前年を大きく上回った。

<主な国の売上高前年比(現地通貨ベース)>



■ 第1四半期部門業績の概況(空調事業)



北米

ーダクトレス

- ・業務用は販売網強化により堅調に推移。
- ・住宅用は昨年出荷が進んだ反動もあり、前年同期比では下回った。
- ・グッドマン社が北米全域にもつ販売網を活用し、更なる販売拡大とシェアアップを目指す。

ー住宅用ユニタリー

- ・グッドマン社は売上高、営業利益ともに前年を大きく上回った。
- ・米国の住宅市場が回復する中、更新市場での拡販に加え、省エネ新商品の投入により新築市場での販売を伸ばした。

ーアプライド

- ・アプライド市場の需要回復は遅れているが、当社はエアハンドリングユニットやターボ冷凍機などの機器の拡販、サービス事業の拡大に加え、中南米地域への輸出拡大により、売上高を伸ばした。

＜北米製品別販売状況(台数ベース)＞

(前年比)		1Q 実績	2013年度通期		
			需要	当社計画	
ダ ク ト レ ス	住宅用(RA)	68%	107%	119%	
	業務用	SKY	100%	108%	
		VRV	105%	111%	
住宅用ユニタリー		112%	103%	106%	
アプライド		109%	101%	111%	
売上高(億円)		1,071	449%	3,430	331%

※SKY・・・中小型パッケージエアコン

※VRV・・・ビル用マルチエアコン

※住宅用ユニタリー、アプライドは売上高(現地通貨)ベース

■ 第1四半期部門業績の概況(化学事業)



- ・中国の鉄道・電力などインフラ向け樹脂の販売増に加え、円安の影響もあり、売上高は前年を上回ったが、中国メーカーとの競争激化による売価ダウンや生産調整により、営業利益は対前年減益となった。
- ・中国のポリウムゾーン向け樹脂など好調分野での拡販を図るとともに、半導体市場での設備投資の再開や日系・米系自動車メーカー・航空機メーカーの一層の需要拡大、シェールガス関連の米国でのプラント建設など、明るさが出てきている分野の需要を取り込み、売上拡大を図る。
- ・また、ガスや樹脂の売価維持の徹底を図ると同時に、トータルコストダウンを推進することにより、利益確保に努める。

＜フッ素化学製品の販売状況(売上高ベース)＞

(前年比)	1Q 実績	2013年度通期	
		需要	当社計画
全フッ素化学品	110%	105%	121%
ガス	99%	105%	120%
樹脂ゴム	109%	105%	124%
化成品ほか	115%	104%	116%
売上高(億円)	299	1,500	121%
現地通貨ベース	94%	76%	



ダイキン工業株式会社

予測に関する注意事項

本資料は情報提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料(業績計画を含む)は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその確実性・完全性に関する責任を負いません。ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願い致します。本資料の見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断により生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。